

自然共生サイト「三瓶山・西の原」草原保全寄付金のお祝い  
— 火入れを未来へつなぐために —

趣 意 書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび三瓶山西の原火入れ実行委員会が申請しておりました「国立公園三瓶山・西の原」の草原が、「自然共生サイト」に認定されました。

自然共生サイトとは、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する制度であり、世界的な生物多様性保全目標である「30by30」や、自然の維持・回復・創出を促進する「ネイチャーポジティブ」の実現に向けた重要な取り組みとして位置付けられています。

当実行委員会は、平成19年の発足以来、大田市をはじめ官民19団体で構成され、草原保全の要である「火入れ」を中心に活動を続けてまいりました。実施主体の変遷を含めると、その歴史は37年に及びます。今回の認定は、火入れ・放牧・採草など、人の手が入ることによって維持されてきた草原の価値と、生物多様性の意義を広く社会に発信する大きな契機となります。

しかしながら、これまで主にボランティアにより担われてきた防火帯整備や安全管理の作業は、山火事多発など近年の状況を踏まえると、従来体制のままでは安全に継続することが難しくなっています。火入れを今後も安定的、かつ安全に実施していくためには、防火装備や通信機器、安全管理費用など、継続的な資金の確保が不可欠です。

つきましては、三瓶山・西の原の貴重な草原を将来へと引き継ぐため、火入れ活動の継続を支える寄付金として、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

皆さまの温かいご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

敬具

令和8年6月5日

三瓶山西の原火入れ実行委員会  
委員長 楢野 弘和